



発行所

一般社団法人
全日本木材市場連盟
編集・発行人 柱本 修
東京都文京区後楽 1-7-12
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価・年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

令和4年 年頭所感

林野庁長官 天羽 隆



新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は6月に新たな「森林・林業基本計画」が策定され、今後の森林・林業施策の指針が示されました。本計画では、①森林資源の適正な管理・利用、②「新しい林業」に向けた取組の展開、③木材産業の国際競争力・地場競争力の強化、④都市等における「第2の森林」づくり、⑤新たな山村価値の創造という5つの柱を通じて、森林・林業・木材産業の持続性を向上させながら成長発展させることで、社会経済生活の向上と2050年カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現を目指すこととして

おります。

基本計画実施の初年である昨年は、計画の実現に向けた積極的な動きが多数ございました。

まず、基本計画の策定に先行し、昨年3月には「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」の一部を改正し、同法に基づく間伐等の支援措置の期限延長やエリートツリー等を用いて再造林を促進する措置を新設いたしました。

また、効率的かつ安定的な林業経営の育成を図るため、国有林において樹木採取権制度がスタートしており、今後、順次樹木採取権者が決定する見込みです。

さらに、昨年10月には、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が改正され、「脱炭素社会における木材の利用の促進に関する法律」として施行されました。この改正法により、木材利用促進の対象が公共建築物から建築物一般に拡大されたところであり、建築物においてより一層の木材利用の促進に取り組んでまいります。

また、昨年は、木材の世界的な需要の増加や海運コストの上昇等に伴う輸入木材の価格高騰に端を発し、国内でも木材不足・価格高騰が起きました。輸入木材

の供給リスクが改めて顕在化したと言えます。こうしたリスクに備えるためには、国産材の安定供給に向けた環境整備を行うことが重要であり、原木の安定的な供給に向けた間伐や路網整備等の取組のさらなる推進、加工施設整備等による国産材製品の競争力・供給力強化、輸入木材に代替できるような国産材製品等の利用促進を通じて、海外市場の影響を受けにくい需給構造の構築に取り組むこととしています。

森林・林業・木材産業の持続と成長を促し、社会経済生活の向上と2050年カーボンニュートラルに寄与するグリーン成長の達成に向け、昨年の取組をさらに前進させていくよう、そして我が国に暮らす全ての皆様が森林の恵みを末永く享受できるよう、全身全霊をもって日々邁進していく所存です。本年も森林・林業・木材産業関係者の、そして国民の皆様の御協力をお願いいたします。結びに、現在直面している未曾有の課題を打破し、本年が皆様一人ひとりとって、実り多き素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

令和4年 年頭所感

林野庁木材産業課

課長 齋藤 健一

新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

御案内のとおり、戦後造成され利用期を迎えて成熟した豊富な森林資源を循環利用していくためには、木材の需要拡大を図ることが重要です。木材は建築物などに利用することで炭素を貯蔵できるだ



けではなく、他の資材と比べて製造時の二酸化炭素排出量も少ないことから、木材の利用は2050年カーボンニュートラルの実現にも貢献します。

特に昨今は、SDGsへの貢献やESG投資といった観点から、経済界等の木材利用への関心が高まっており、住宅の木造化・木質化が注目されていると感じております。林野庁では、建築物に木材を使う方々が、その効果を対外的にわかりやすくPRできるよう、昨年「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」を公表し、木材利用の一層の促進を図っております。

また、「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行されるなど、非住宅・中高層建築物における木材利用の動きが広がってきております。これを一層推進していくため、川下から川上までの関係者が広く参画する官民協議会である「民間建築物等における木材利用促進に向けた協議会(通称「ウッド・チェンジ協議会」)」を昨年立ち上げたところであり、幅広い関係者の連携により木材利用の定着と普及を推進してまいります。加えて、中高層建築物等における木

材利用を促進するため、CLTや木質耐火部材等の技術開発・普及などの取組を進めてまいります。

さて、昨年は輸入木材の不足・価格高騰が起るなど、需給動向がめまぐるしく変動しました。今般、輸入木材の供給リスクが顕在化したことを踏まえ、と、輸入木材からの転換も含め国産材のシェアを拡大し、輸入木材の影響を受けにくい環境を整備していくことが重要と考えております。

このため、林野庁といたしましては、再造林の推進など森林資源の適正な管理を確保しつつ、国産材の安定供給体制の構築や、都市等における木材利用の拡大などを進めていくこととしております。こうした取組の推進にあたっては、川上から川下までの関係者の連携が一層重要であり、これらの関係者をつなぐ場となる市場が、重要な役割を果たすことは間違いありません。

全日本木材市場連盟の皆様におかれましては、国産材の利用拡大をはじめとする林業・木材産業行政への御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって実り多き栄えある一年となりますよう祈念申し上げて、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

林野庁業務課企画官

(国有林材安定供給担当)

善 行 宏

新年あけましておめでとうございます。全日本木材市場連盟の皆様には、日頃

から国有林野事業の推進に御理解と御協力を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

振り返りますと、一昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により木材需要が減少し、一部製材・合板工場等において減産、原木の受入制限がなされるなど、原木需要に大きな影響が生じました。このため、国有林野事業では、中央及び各森林管理局に設置した国有林材供給調整検討委員会を臨機に開催し、立木販売の公告延期等に地域の実情に応じて取り組みました。その結果、令和2年度の国有林材供給量は、令和元年度比で約1割減少しました。

一転して昨年は、木材輸入量の減少等による国内の建築用木材不足・価格高騰（いわゆる「ウッドショック」）が生じ、輸入木材の代替として国産材丸太の引き合いが強くなりました。このような状況を踏まえ、各森林管理局において国有林材供給調整検討委員会が御議論いただいた結果等を踏まえ、①令和2年度中に生産していた丸太の早急な販売、②立木販売物件の前倒し販売、③製品生産請負事業の早期発注、等の対策を講じました。また、昨年末の12月3日に開催した中央



の国有林材供給調整検討委員会では、「ウッドショック」の影響は、地域や樹種、用途により異なり、先行きは依然として不透明であるため、引き続き、国産材の需要動向や民有林からの供給、輸入木材の動向を注視しつつ、各地域の需給動向を踏まえた国有林材の供給に取り組みべき。」旨の御意見をいただいたところで

今後とも、国産材供給量の1割強を供給し得るという国有林の特性を活かし、地域の需要に応える供給調整機能を発揮できるよう、各般の取組を進めてまいりたいと考えています。

さて、林野庁では、昨年6月に新たな「森林・林業基本計画」を策定し、森林・林業・木材産業の持続性を向上させながら成長発展させることで、社会経済生活の向上と2050年カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現を目指すことになりました。国有林野事業としても、その実現に向け、率先して「新しい林業」を実践していく必要があると考えています。

同時に、需給動向を見定めつつも、益々充実してきている資源を有効に活用すべく、国有林材の供給を計画的・安定的に増加させていくことになると考えますので、全日本木材市場連盟の皆様方には、引き続き、変わらぬ御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、皆様方の益々の御発展と御健勝を祈念申し上げ、新年の御挨拶いたします。

新年のご挨拶

一般社団法人 全国木材組合連合会

会 長 鈴木 和 雄



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、皆様方には本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は引き続き新型コロナウイルス感染症が大きなニュースでしたが、感染症後の経済の回復にも関連して、アメリカや中国での急速な木材需要の増加に端を発した世界的な木材需給のひっ迫がありました。加えてコンテナ不足による海上輸送費の上昇等を受けて、日本では輸入木材等の需給ギャップ、価格上昇、いわゆる「ウッドショック」が起こり、マスコミにも大きく取り上げられ注目されました。現時点で見通しは不透明なところがありますが、いづれにしましても、このことが、輸入木材、国産材を問わず木材離れにつながる事が無いよう利用者、消費者に理解をしていただくよう取り組むことが重要であると考えています。

また、今後の大きな課題の一つである都市部での木材利用の推進に関しまして

も大きな動きがあり、公共建築物等木材利用促進法が「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」(通称・都市(まち)の木造化推進法)として拡充・改正され施行されました。このことは、木材利用推進に向けた大きなターニングポイントになると確信しております。ただし、それを真に実現するためには、我々、木材産業界が関係各位のご理解・ご協力を得つつ、木材利用を国民運動として展開を図っていくことが必要であると、改めて考える次第です。

「全国木材産業振興大会」につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向が見通せない中ではありましたが、2年ぶりの大会を北海道において成功裡に開催することができました。関係各位には開催に向けて、やきもきさせた所もあったかと存じますが、木材産業の振興は全木連の大きな目的であり、組織としてのまとまりや求心力に向けて重要な大会であると考えております。会員の皆様のご継続のご理解ご協力のほど、よろしくお願い致します。

10月には4年ぶりに衆議院が解散され選挙が行われました。選挙の結果はご案内のとおりでございますが、選挙後に、大型経済対策・補正予算の編成が行われました。全木連としましては、引き続き木材需要拡大に向けた各般の対策の充実を、林野庁をはじめとする関係行政機関に対して、積極的に働きかけを行っていくこととしております。皆様方のなご一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今年の干支は寅です。寅という文字は「演」から来ているとも言われ、このことから寅年は「成長していく」、「象徴が生まれる(始まる)」年と言われています。木材利用推進に向けての新たな芽をふまえ、本年が森林・林業・木材産業の大きな成長の年となりますことと、皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。

年頭御挨拶

一般社団法人 全日本木材市場連盟
会長 西垣 泰幸



新年、あけましておめでとうございます。皆様には平素より当連盟の運営につきましまして、格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。

昨年を振り返りますと、引き続き、新型コロナウイルス感染症が生活や経済に影響を及ぼし、特に海外から輸入される多くの原材料の価格が上昇するなど、サプライチェーンの重要性を改めて認識する一年となりました。また、東京オリンピック・パラリンピックや米大リーグでの日本人選手の大活躍、真鍋淑郎氏のノーベル物理学賞受賞など元気づけられる

る話題もありました。

木材につきましては、春から米国の住宅需要増加や世界各地における物流面での混乱等に起因して外材輸入が減少し、代替材としての国産材への急激な需要圧力や価格上昇をもたらしました。この第3次ウッドショックと呼ばれる状況の中、木材市場は木材の集荷・安定供給に最大限努力し、サプライチェーンの維持・復活に貢献することができました。全国の木材市場の皆様感謝申し上げます。

さて、世界経済や景気の動向は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、当面は不透明な状況が続くと見通されます。他方、我が国の新設住宅着工戸数は、昨年1月～10月累計で71・5万戸となり、著しく減少した一昨年から回復してきています。

このような需要に比べるとともに、今後は長期的視野に立つて国産材の安定供給を拡大して行くことが必要です。このためには、我が国の森林資源を我が国で利用するという基本的な姿を消費者にもっとご理解いただく必要があると考えています。

昨年、政府では、新たな森林・林業基本計画の策定、公共建築物等木材利用促進法の「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」への改正など重要な政策を打ち出されました。これらを通じて都市の木造化が進み、商業施設やオフィス等で木の見える木造建築が普及し、木材需要が拡大することが期待されます。全木連が主催している木材アドバイザー

養成講習会では、既に880名という多くの有資格者を世の中に送り出しています。こうした方々の活動も木材需要の拡大に大きな力になると信じています。

我が国は2050年のカーボンニュートラルの実現を目指しており、昨年10月に発表された政府の「地球温暖化対策計画」では、新たな森林吸収量目標が総排出量比2・7%とされました。

森林・林業・木材産業がこの目標に貢献していくためには、我が国の山林は循環型資源であると言える状態にして行かなければなりません。

間伐だけでなく、主伐・再造林・育林と木材利用を組み合わせた体系への現実的な移行です。植林に積極的に取組み、重要な二酸化炭素の吸収源である我が国の森林を充実させて、木材の安定供給につなげていくことは、将来の世代に対する我々の大きな責任であると考えています。木材市場と致しまして、集荷・仕分け、価格形成、情報発信やコーディネート等の機能を発揮し、山元への利益還元等を通じて貢献して参りましょう。

今年の干支は、壬寅(みずのえとら)で、「春が来て草木が成長を始める状態」と言われています。本年が、厳しい冬の後の新たな成長が始まる年になるよう皆様と共に取組んで参る所存ですので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

■令和3年度林野関係補正予算の概要

令和3年度の一般会計補正予算案が12月20日参議院で可決、成立した。林野庁関係の補正予算額は約1,242億円。補正予算の概要は次の通り。

1. 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施

(1) 次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成

① 農林水産業の担い手の確保・育成
〔緑の雇用〕新規就業者育成推進事業) 3億円

・林業への新規就業者の確保・定着化や育成に向け、ガイダンスの開催、トリアル雇用(短期研修)、伐採作業に加え造林作業を行う多技能化に対応した人材育成等の取組を支援

② 次世代を担う農林漁業者の生産性向上支援 100億円

・ポストコロナを見据え、農林水産物の輸出や需要構造の変化、デジタル化、中山間地域等の人口減少等に対応し、生産基盤の維持・強化を図るため、規模の大小に関わらず、生産性向上に取り組む農林漁業者等に対し、必要な機械・施設の導入を支援

(2) 合板・製材・構造成材等の木材製品の国際競争力の強化

① 木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策(一部公共) 495億円

・合板・製材・構造成材等の国際競争力を強化するため、加工施設の大規模化・高効率化や輸出向け等の高付加価値品目への転換、路網整備や高性能

林業機械の導入、搬出間伐、再造林、エリートツリー等の苗木の生産施設整備、木材製品等の輸出促進、非住宅分野の木造化等の推進による木材製品の消費拡大等を支援するとともに、一般の木材不足・価格高騰(いわゆるウッドショック)への対応として製品の供給力増大のための乾燥施設の能力向上等や、国産の製品等への転換促進等を支援

2. 防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

(1) 防災・減災、国土強靱化の推進

① 治山施設の設置等による対策(公共) 306億円

・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、治山施設の整備等による流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策等を実施・支援

② 森林整備による対策(公共) 186億円

・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、重要なインフラ施設の周辺や氾濫した河川の上流域等での間伐等や、林道の開設・改良等の対策を実施・支援

(2) 令和3年8月の大雨等の災害からの復旧・復興振興

① 災害復旧等事業(公共) 252億円

・被災した治山施設、林道施設等の速やかな復旧等を実施・支援

② 盛土による災害の防止(公共)

・盛土総点検で確認された危険が想定される盛土の対策について、行為者等による是正措置を基本とし、公共として

切迫した危険性のある箇所の緊急的な対策として詳細調査(応急対策工事を含む)の実施を支援

■令和3年度木材関連事業者登録の推進セミナー・個別相談会を開催

11月8日、全市連、全買連、全木連は共催によりクリーンウッド法及び登録制度の周知、登録促進や合法性証明に必要な情報提供を行う「木材関連事業者登録の推進セミナー・個別相談会」を林友ビルにて開催した。セミナーには18名が参加し、林野庁木材利用課氏橋亮介課長補佐の「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律(クリーンウッド法)の概要と意義について」、全木連下堂健次参与の「ガイドラインに基づく合法木材供給制度とクリーンウッド法の概要について」、日本住宅・木材技術センター伊巻和貴主席研究員の「第二種木材関連事業者の登録申請手続き等について」の講義を熱心に受講した。



「事業者登録推薦セミナーの様子」

雑記帳

ロシア極東の港町ウラジオストクから北のハバロフスクに向かう道を車で走っていると道路わきに大きなトラの像が立っていた。既に凍てつく季節になっていたので、こんな寒いところ(トラ?)と思ったが、この地域には、わずかに残されたシベリアトラの保護区があった。ネコ科の動物では世界最大といわれており、雄の長さは2・5mにもなるという。アムールトラとも呼ばれ、昔はロシア極東と中国との国境にあるアムール川流域や朝鮮半島の北部などにも生息していた。ネコ科にもかかわらずよくこんな寒いところで我慢してきたものだ。しかし開発とともに姿を消し、現在はロシア極東の日本海沿いなど限られた保護区を中心にわずかに残っているだけである。現存数は500頭程度と言われている。毛皮や漢方薬を目的とした密猟、違法伐採や森林火災が懸念されている。近年は生息数が安定しているようなので、このまま無事生き伸びることを願う。○今年の干支は壬寅(みずのえとら)である。干支は十二支と十干を組み合わせたもので、60種類からなる。干支のもとになった中国の陰陽五行説では、壬は水を表し、寅は木やこれから成長が始まる状態を表すと言われる。水は木の成長に必要であり、森は水を育む、両者は良い補完の関係にある。また、寅の刻は夜明けで、新しい一日の始まりを期待させる。今年は人類が英知を集めて困難を乗り越え、新しい成長が始まる年になって欲しい。

謹んで新春の
ご挨拶を申し上げます

令和四年 元旦



西垣林業株式会社

代表取締役会長 西垣 泰幸
代表取締役社長 西垣 雅史

桜井市場

〒六三三〇〇六四 奈良県桜井市戒重一三七
電話 (〇七四四) 四六三八〇〇 FAX (〇七四四) 四六一三八三八

名古屋市場

〒四六七〇八五五 名古屋瑞穂区桃園町三二二
電話 (〇五二) 八一七二二二 FAX (〇五二) 八二四一八二九七

三重事業所マルタピア

〒五一八〇二〇四 三重県伊賀市北山一五六〇
電話 (〇五九五) 五一三二二二 FAX (〇五九五) 五二一三二二三

酒田事業所／酒田工場

〒九九八〇〇〇五 山形県酒田市宮海字明治九九一〇
電話 (〇二三四) 三三一五七〇四 FAX (〇二三四) 三三一八六八

茨城事業所

〒三一九〇一〇五 茨城県小美玉市鶴田字兵庫久保七三〇一五
電話 (〇二九九) 三五七七一六〇 FAX (〇二九九) 三五七七一六一

浜松工場

〒四三八〇八〇四 静岡県磐田市加茂二二五一一
電話 (〇五三) 八三一五二〇四 FAX (〇五三) 八三一四四三六

豊田事業所／豊田工場

〒四七〇〇三七一 愛知県豊田市御船町山ノ神五六一〇一六
電話 (〇五六五) 七七一一〇七七 FAX (〇五六五) 七七一一〇七八

舞鶴事業所／舞鶴工場

〒六二四〇九四五 京都府舞鶴市大字喜多小字片測二四三二四
電話 (〇七七三) 七五一一三二五 FAX (〇七七三) 七五一一四八七六

四国事業所

〒七三三〇〇六〇 高知県南国市蛸が丘一三〇四号室
電話 (〇八八) 八二一一六九九 FAX (〇八八) 八二一一六九九七

栃木出張所

高山出張所

高知西部出張所

北海道木材市場協同組合

理事長 加賀谷 雅治

〒〇〇二八〇五二
札幌市北区篠路町上篠路七一八
電話 〇一一七五七七五五

青森県森林整備 事業協同組合

(原木市場)

理事長 川崎 幸宏

〒〇三〇〇九五五
青森市大字駒込字桐ノ沢一二九一
電話 〇一七四三三五四二

秋田中央木材市場株式会社

代表取締役 工藤 茂丸

〒〇一〇〇九四一
秋田市川尻町字大川反二二二一七
電話 〇一一八六三二二二
FAX 〇一一八六三二二二〇

株式会社 山形城南木材市場

代表取締役社長 安部 雄祐

定例市日 八・十八・二十八日

〒九九〇二二〇七
山形市表蔵王六〇一
電話 〇二三六八八二二〇〇
FAX 〇二三六八八二二〇二

株式会社 仙台木材市場

代表取締役 守屋 長光

定例市日 第二、第四 水曜日

〒九八三〇〇三六
仙台市宮城野区苦竹二一七三〇
電話 〇二二二三二二二一〇一
FAX 〇二二二三二二二一〇七

株式会社 ミトモク

代表取締役 安藤 裕一

本社 定例市日 一八日

本社 水戸市千波町一八八四
電話 〇二九二四一一三二一代
日立営業所
日立市留町二四三五一六二
電話 〇二九四一五二一八三九代

株式会社 茨城木材相互市場

代表取締役 打越 芳男

定例市日 (毎月十三日)

本社 つくば営業所 毎週木曜日

〒三一〇〇八二六
茨城県水戸市渋井町五〇
電話 〇二九二二二二二二

株式会社 吾野原木センター

代表取締役 鴨 下文明

定例市日 毎月五日・二〇日

〒三五七〇二二一
埼玉県飯能市大字平戸二〇三
電話
本社 〇四二一九七八一・二八六
第二工場 〇四二一九七八一・二八六
FAX 〇四二一九七八一・二八七

株式会社 宇都宮総合木材市場

代表取締役 金子 利雄

定例市日 七・十七・二十七日

〒三二一〇四一四
栃木県宇都宮市中里町七一八四
電話 〇二八六六七四一・七四八代
FAX 〇二八六六七四一・四三八六

千葉県木材市場協同組合

代表理事 小池 正男

定例市日 毎週木曜日

〒二八三〇八二二
千葉県東金市山田八〇〇
電話 〇四七五一一五五・一六一
FAX 〇四七五一一五五・一六一

株式会社 吉貞

戸田市場 埼玉県戸田市本町1-23-1
電話 048-443-4321
FAX 048-442-5181
熊谷市場 埼玉県熊谷市中奈良 1412
電話 048-523-3621
FAX 048-523-3628
佐野市場 栃木県佐野市免鳥 295
電話 0283-23-6311
FAX 0283-23-6359
高崎市場 群馬県高崎市飯塚町 1150
電話 027-361-2477
FAX 027-363-4473

「大きな信頼を」

東京木材市場株式会社

代表取締役社長 市川英治

本社・市場

〒一三六〇〇八二

東京都江東区新木場二一八

TEL 〇三三三二二一七一一 (代表)

FAX 〇三三三二二一七一一五

市日 毎週木曜日

TEL 〇三三三二二一七一一 (市売)

越谷センター

〒三三三〇八四四

埼玉県越谷市大間野町一三〇

TEL 〇四八一九八九一〇一七一

株式会社 東海木材相互市場

代表取締役社長 鈴木和雄

http://www.kirakuninet.com

本社

〒四五六〇〇三三 愛知県名古屋市中熱田区花表町二十一番一号

電話 〇五二一八八一五五一 FAX 〇五二一八八一三〇八二

西部市場

〒四九〇一四四四 愛知県海部郡飛鳥村木場二丁目十七番地

電話 〇五六七五五〇一五五 FAX 〇五六七五五〇二五三八

大口市場

〒四八〇〇二二 愛知県丹羽郡大口町河北二丁目二番地

サテライト美並

電話 〇五八七九五一〇〇一 FAX 〇五八七九五一〇〇五

サテライト名倉

電話 〇五七五七九一五〇五五 FAX 〇五七五七九一五〇六〇

飛騨匠工場

電話 〇五三六六三三三四五六 FAX 〇五三六六三三三五三五

電話 〇五七七一三五 岐阜県高山市新宮町一一番地八

電話 〇五七七三六一五四三九 FAX 〇五七七三六一五九三九

福島県木材市場協同組合

理事長 鈴木賢二

〒九六〇一八〇四三

福島市中町五一八

TEL 〇二四一五二二二二〇七

FAX 〇二四一五二二二一三〇八

福島県郡山地区木材製材協同組合

株式会社平木材市場

有限会社福島原本センター

南東北木材株式会社

協同組合奥久慈木材流通センター

協同組合

高知県木材市場連盟

代表理事 尾崎徳七

〒七八〇一〇八五〇

高知市丸ノ内二丁目一番二十三号

TEL 〇八八八二六八二二三

FAX 〇八八八二六八二三三

株式会社 ゲンボク市場

高知県林材株式会社

木のやさしさ...人へ未来へ。
株式会社 伊万里木材市場

本社

〒八四九一四二五二

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番地三〇

TEL 〇九五五二〇二一八三 (代表)

FAX 〇九五五二八二八五五

福岡営業所

〒八二四一〇六〇四

福岡県田川郡添田町野田一九二七

TEL 〇九四七七八二五〇一〇

FAX 〇九四七七八二五〇一

大分営業所

〒八七九一五四一三

大分県由布市庄内町大龍二〇八一

TEL 〇九七五八六一二二一〇

FAX 〇九七五八六一二二三〇

南九州営業所

〒八九九一八六〇六

鹿児島県曾於市末吉町深川八八六番地

TEL 〇九八六一二八一〇二二八

FAX 〇九八六一七九一七七七

南九州営業所 第二工場

〒八九九一八六〇六

鹿児島県曾於市末吉町深川八五一五番地二

TEL 〇九八六一三六一四八八〇

FAX 〇九八六一三六一四八八一

糸島事業所 木の駅「伊都山操」

〒八一九一五六三

福岡県前原市高菜寺三四二番一

TEL 〇九二一三三一一五〇二一

FAX 〇九二一三三一一五〇二一

ホームページ http://www.imarimokuzai.co.jp
メールアドレス imanoku@imarimokuzai.co.jp木材アドバイザー
養成講習会

(東京会場)

令和4年2月18日(金)
2月19日(土)木材会館(東京木材問屋協同組合)会議室
東京都江東区新木場 1-18-8
木材会館

(大阪会場)

令和4年2月25日(金)
2月26日(土)大阪木材仲買会館
大阪府大阪市西区南堀江
4丁目18番10号

謹賀新年



株式会社 東京木材相互市場

代表取締役
社長 西村 信洋

〒一七九〇〇八一
東京都練馬区北町六丁目
三十二番三十六号

電話 〇三三三九三四四一八
FAX 〇三三三九三四四二二六

東京新宿木材市場株式会社

代表取締役
社長 中村 司

定例市日
鶴ヶ島売場 毎週木曜日

〒一五六〇〇五七
東京都世田谷区上北沢
五丁目三七一八

電話 〇三三三三〇四一五二一
FAX 〇三三三三〇四一四二一五

東京中央木材市場株式会社

代表取締役
社長 飯島 義雄

市日 水曜日

〒二七九〇〇三二
千葉県浦安市千鳥一三
電話 〇四七三三五五〇〇一
FAX 〇四七三三五五一三三

NICE ナイス株式会社

代表取締役
社長 杉田 理之

(本社)

〒二三〇八五七一

横浜市鶴見区鶴見中央四丁目三番一
電話 〇四五二二六一六一(代表)
FAX 〇四五二二六一四六

丸宇木材市売株式会社

代表取締役社長 青木 豊実

〒136-0071 東京都江東区亀戸 6-57-19
Tel 03-6904-8141 Fax 03-5628-3722
http://www.maruu.co.jp

市 日

北浜市場(毎週木曜日)
大栄浜市場(毎週水曜日)

下館市場(毎週金曜日)
京葉市場(毎週木曜日)

株式会社 横浜連合木材

代表取締役
伊藤 元二

〒二五三〇一一一

神奈川県高座郡寒川町一之宮
六二二

電話 〇四六七七三〇〇七三
FAX 〇四六七七三〇〇三〇

関東木材センター協会

会長 西村 信洋

(事務局)

〒一七九〇〇八一

東京都練馬区北町六丁目三十二番
三十六号

株式会社 東京木材相互市場内

電話 〇三三三九三四四一八
FAX 〇三三三九三四四二二六

木曽官材市売協同組合

代表理事 勝野 智明

定例市日

製品 国有林土場活用委託
原木 萩原事務所
坂下事務所

月一回
月一回
月一回

〒三九九一五六〇四
長野県木曽郡上松町正島町二四四
電話 〇二六四一五二二四八〇代

神戸木材市売協同組合

代表理事 名田 健吾

〒六五三〇〇三三

神戸市長田区薊藻島町三一五二四
TEL 〇七八一六八一三四四一(代)

FAX 〇七八一六八一三四四三

フレカット事業部

TEL 〇七八一六七一一八八六〇(代)

鈴鹿木材株式会社

代表取締役社長 森 啓介

定例市日 六日・十六日・二十六日

〒五一〇二二六四

三重県鈴鹿市徳居町四六二二

TEL 〇五九一三七二二八〇八
FAX 〇五九一三七二二七六五

松阪木材株式会社

代表取締役会長 田中 善彦
代表取締役社長 久保 寛

定例市日 毎週水曜日

本社 〒515-0088
松阪市木の郷町21
TEL 0598-20-2323
FAX 0598-20-1082

ウッドピア市売 浜間屋
TEL 0598-20-1616
FAX 0598-20-1515

ウッドピア21 事業部
TEL 0598-20-1122
FAX 0598-20-1127

新潟営業所
TEL 025-256-6000
FAX 025-256-6600

株式会社 岡山木材相互市場

代表取締役
岡本 剛

本社 〒七〇一〇二二一

岡山市南区藤田五六〇

TEL 〇八六二二九六〇三〇六

福山営業所 〒七二〇二二二五

広島県福山市神辺町新徳田
二四二二二五
TEL 〇八四一九六三二七〇三〇

真庭木材市売株式会社

代表取締役
山下 薫

本社 〒七一九三二〇三

真庭市富尾一番地

TEL 〇八六六七 四二二〇六〇二

FAX 〇八六六七 四二二二六〇〇

月田木材市場 〒七一七〇二四

真庭市月田七四八六番地

TEL 〇八六六七 四四一三一八一

FAX 〇八六六七 四四一三五一一八

Eメール nmik@lime.ocn.ne.jp

石谷林業株式会社

代表取締役社長 石谷 樹人

定例市日 八・十八・二十八日

〒六八九一四〇一

鳥取県八頭郡智頭町市瀬一四三八一

電話 〇八五八二七五〇六三三

全日本木材市場連盟 北陸支部

支部長 齊藤 豊美

【加盟木材市場】

株式会社富山合同木材市場
(TEL 076-452-1155)

株式会社高岡木材市場
(TEL 0766-52-2131)

富山県森林組合連合会
(TEL 076-434-1750)

福井県嶺北木材林産協同組合
(TEL 0776-53-0221)

福井県木材市売協同組合
(TEL 0776-41-3730)

福井県森林組合連合会
(TEL 0776-38-0345)

(一社)全日本木材市場連盟 全市連福祉共済

【悠々コース】
70歳まで継続加入
できます！

※悠々コースのみの新規加入は
できませんのでご注意ください。
皆様のご加入を
お待ちしております！

株式会社 福山中央木材市場 代表取締役 小林 方之 〒七二〇・二二二四 広島県福山市神辺町川南 電話 〇八四・九六三・一〇〇一 FAX 〇八四・九六三・一〇二二	「木の目、木の肌、木の香り」 活かして使おう国産材 国産材専門の産地市場 美作材優良松・杉・松・その他 市 日 素材 毎月本社8の日・新見支店3の日 製品 毎週木曜日 株式会社 津山総合木材市場 代表取締役社長 木下 恒久 本社 〒708-0011 津山市上田邑2880 素材部・製品部 TEL (0868) 28-7777(代) FAX (0868) 28-7890 新見支店 〒719-3811 新見市哲西町大竹330 TEL (0867) 94-3111(代) FAX (0867) 94-3555	株式会社 出雲木材市場 代表取締役 三吉 庸善 定例市日 毎週火曜日 〒六九三・〇〇二二 出雲市上塩冶町八九〇一 電話 〇八五・三二二・一八五五 FAX 〇八五・三二二・一三六〇二
肥後木材株式会社 代表取締役社長 佐藤 圭一郎 定例市日 11・19・27日 8・25日(人吉市場) 本社 〒861-8012 熊本市東区平山町 2986-11 (T) 096-389-0022 (F) 096-389-8911 人吉 〒868-0094 球磨郡相良村深水 2500-3 (T) 0966-35-0882 (F) 0966-35-0886	福岡市木材協同組合 福岡市木材市場 理事長 伊藤 正隆 〒八二〇・〇〇七一 福岡市中央区那の津三丁目十六一六 TEL 〇九二・七七七一・五七九一 FAX 〇九二・七七七一・三〇四四	株式会社 太洋木材市場 代表取締役会長 樋口 高良 代表取締役社長 樋口 哲也 市売り日 二・十二・二十一日 本社 〒七六〇・〇〇五五 高松市観光通り二一〇一十五 電話 〇八七・八三三・二二二一 FAX 〇八七・八三三・二二〇四〇 高知営業所 〒七八一・〇一一二 高知市仁井田新築四五〇三番地一 電話 〇八八・八四七・一七五二 FAX 〇八八・八四七・一七五二
都城原木市場株式会社 代表取締役社長 上原 昭一 都城定例市日 二・一六日 小林定例市日 二・二六日 都城 〇八八・五〇〇・三五五 都城市立野町三八三三一 電話 〇九八・六一三・一四八六五 小林 〇八八・六〇〇・〇〇六 小城市大字北西方一七八八 電話 〇九八・四二七・二〇二八	株式会社 中津木材相互市場 代表取締役社長 若松 定生 定例市日 7日 23日 〒871-0012 大分県中津市宮夫 255 TEL 0979-22-0145 FAX 0979-22-0115	大木坑木有限公司 宇和島出張所 大木木材市場 取締役所長 二宮 政文 (定例市日) 月二回 十五日・三十日 〒七九八・一一二四 愛媛県宇和島市三間町増田三八九 TEL 〇八九・五八・一三〇三三 FAX 〇八九・五八・一四五二四 大一木材株式会社 代表取締役 宮北 嘉則 定例市日 三・十三・二十三 〒七七〇・〇八七三 徳島市東沖洲二二二 TEL 〇八八・六六四・一六三三三 FAX 〇八八・六六四・一六三三〇

お 役 に 立 ち ま す ! 林 業 信 用 保 証 !

(独)農林漁業信用基金は、林業・木材産業事業者の方々が、融資機関から資金を借入する場合、債務を保証することにより、円滑かつ有利に借入ができるよう、支援する公的機関です。

融資枠を広げるためのお伝いをします

補助金の自己負担分等を、取引先の融資機関から借入する際に、当基金が保証人となることで、円滑な資金調達を支援いたします。

無利子の制度資金があります

事業計画が都道府県知事の認定を受けると無利子の融資を受けることができます。

様々な資金用途を保証します

運転資金(原材料調達費や人件費等)や設備資金(機械購入費等)が対象となります。



新型コロナや災害も支援します

つなぎ資金や復旧資金の保証料を免除する制度があります。

お取引先の銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関、当基金の窓口等へお気軽にご相談ください。



林業・木材産業信用保証

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階
【TEL】03(3434)7826,7827
【FAX】03(3434)7837
URL: <https://www.jaffic.go.jp/index.html>

